

兵庫県下の経済動向

平成25年6月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、下げ止まりの動きが広がりつつある。輸出・生産は下げ止まりの動きが広がりつつある。公共投資は増加している。また、雇用・所得環境は改善に向かう動きがみられつつあるほか、個人消費は持ち直しに向けた動きが広がっている。一方、設備投資は弱めとなっている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が2月連続で前年を下回った。

乗用車販売は、普通乗用車が増加したものの、軽乗用車および小型乗用車が減少し全体では2月ぶりに前年を下回った。家電販売は、スマートフォン等が引き続き好調であるものの、薄型テレビが大幅な減少を続けていることから、全体としても低調に推移している。

設備投資は、製造業および非製造業ともに減少を見込んでおり、25年度も減少計画となっている。

住宅投資は、分譲と賃家が減少したことから、全体では3か月連続で前年を下回った。

公共工事請負金額は、国、独立行政法人等、神戸市、兵庫県、その他団体すべてが増加したことから、2か月ぶりに前年を上回った。基調としては増加している。

貿易は、輸出は中国を含むアジア向けが減少したが、米国およびEU向けが増加し、2か月連続で前年を上回った。また、輸入については4か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、3か月連ぶりに前年を下回った。

雇用関係では、有効求人倍率は前月から上昇し、新規求人数は前年を上回った。

また、一人当たり名目賃金は、前年を上回ったものの、所定外労働時間および常用労働者数は前年を下回った。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数は前年を上回ったものの負債金額は前年を下回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

3月の兵庫DIは、先行指数42.9%、一致指数88.9%、遅行指数25.0%となった。

3月の兵庫CIは、先行指数90.8、一致指数92.4、遅行指数100.2となった。

兵庫DIは、先行指数が2か月連続で50%を下回り、一致指数が13か月ぶりに50%を上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数は2か月連続で前月差増、一致指数は4か月連続で前月差増、遅行指数は2か月連続で前月差増となった。

県統計課は基調判断を「一致指数は下げ止まりを示している。」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

4月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は89.8、前月比0.8%減少。出荷指数は86.7、同0.2%増加。在庫指数は125.9、同2.3%増加。在庫率は175.8、同34.7%増加。生産指数は前月から低下、出荷指数は3か月連続で上昇、在庫指数は2か月連続で上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が4.9%減で14か月連続、出荷は7.3%減と15か月連続で低下した。また在庫は10.3%減と4か月連続で低下した。

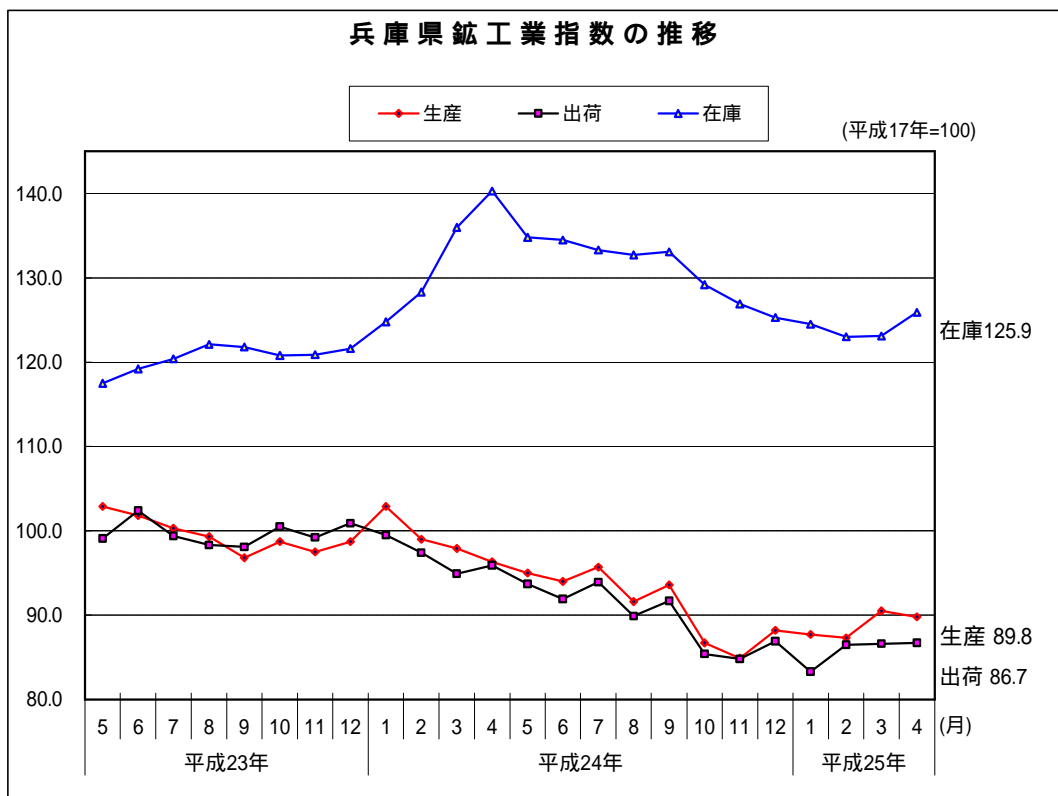
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、線形半導体集積回路等の「電子部品・デバイス」が16.9%、船用ディーゼル機関等の「輸送機械」が6.8%、リチウムイオン蓄電池等の「電気機械」が5.3%、特殊鋼熱間延鋼材等の「鉄鋼」が4.7%、清酒、しょうゆ等の「食料品」が4.7%、ガス温風暖房機等の「金属製品」が3.2%各々上昇し、パーソナルコンピュータ等の「情報通信機械」が27.3%、蒸気タービン部品等の「一般機械」が17.7%、化粧品等の「化学」が7.8%各々低下した。

県統計課は、基調判断を「下げ止っており、一部に持ち直しの動きが見られる」とした。

4月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整 済指数	対前月比 増減(%)	原 指 数	
				対前年同月 比増減(%)
生 産	89.8	0.8	86.6	4.9
出 荷	86.7	0.2	82.2	7.3
在 庫	125.9	2.3	121.6	10.3
在 庫 率	175.8	34.7	178.3	16.3

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



4月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	100.5	4.7	上昇	特殊鋼熱間圧延鋼材、鋼半製品、特殊鋼冷間仕上鋼材(圧延鋼材)、粗鋼
			低下	鋳鉄管、亜鉛めっき鋼板、特殊鋼熱間鋼管、特殊鋼冷けん鋼管
金属製品	84.3	3.2	上昇	ガス温風暖房機、橋りょう、ガス風呂がま、うす板ばね
			低下	石油温水給湯暖房機、機械刃物、超硬チップ、ガス湯沸器
一般機械	71.5	17.7	上昇	建設用クレーン、ショベル系掘削機械、ボイラ部品、トンネル掘進機
			低下	蒸気タービン部品、一般用蒸気タービン、プレス用金型、圧縮機
電気機械	133.6	5.3	上昇	リチウムイオン蓄電池、一般用タービン発電機、内燃機関電装品、工業用計測制御機器
			低下	非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、電力変換装置、電気がま、開閉制御装置
情報通信 機械	73.7	27.3	上昇	カーナビゲーション、基地局通信装置、搬送装置、カーオーディオ
			低下	パーソナルコンピュータ、テレメータ・テレコントロール、携帯電話、陸上移動通信装置(携帯電話以外)
電子部品 デバイス	80.4	16.9	上昇	線形半導体集積回路、IGBT、電界効果型トランジスタ、トランス(コイルを含む)
			低下	アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、PDPモジュール、レーザダイオード、シリコントランジスタ(1W未満)
輸送機械	72.2	6.8	上昇	船用ディーゼル機関、二輪自動車(125ml超)、機関部品、旅客車
			低下	駆動伝導・操縦装置部品、特装ボデー、特殊自動車、鋼鉛
化 学	81.0	7.8	上昇	エポキシ樹脂、シクロヘキサン、脂肪酸、酢酸(99%換算)
			低下	化粧品、医薬品、無水酢酸、複合肥料(化成肥料)
食 料 品	102.4	4.7	上昇	清酒、しょうゆ、砂糖、冷凍調理食品
			低下	ビール類、チーズ、小麦粉、肉製品

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた5月の県内百貨店売上高は、前年同月比4.5%減の157億21百万円で、2か月連続で減少した。「umie(ウミエ)」や「piole(ピオレ)姫路」など大型商業施設が相次いで開業した影響で、競合する若者向け衣料品などで売り上げを落とした。

神戸地区は4.8%減。「西側に住む客が減っており、ウミエだけでなくピオレ姫路の影響も考えられる」として全体を引き下げた。

姫路・加古川地区は3.0%減。山陽百貨店、ヤマトヤシキともに衣料品が前年を割った。

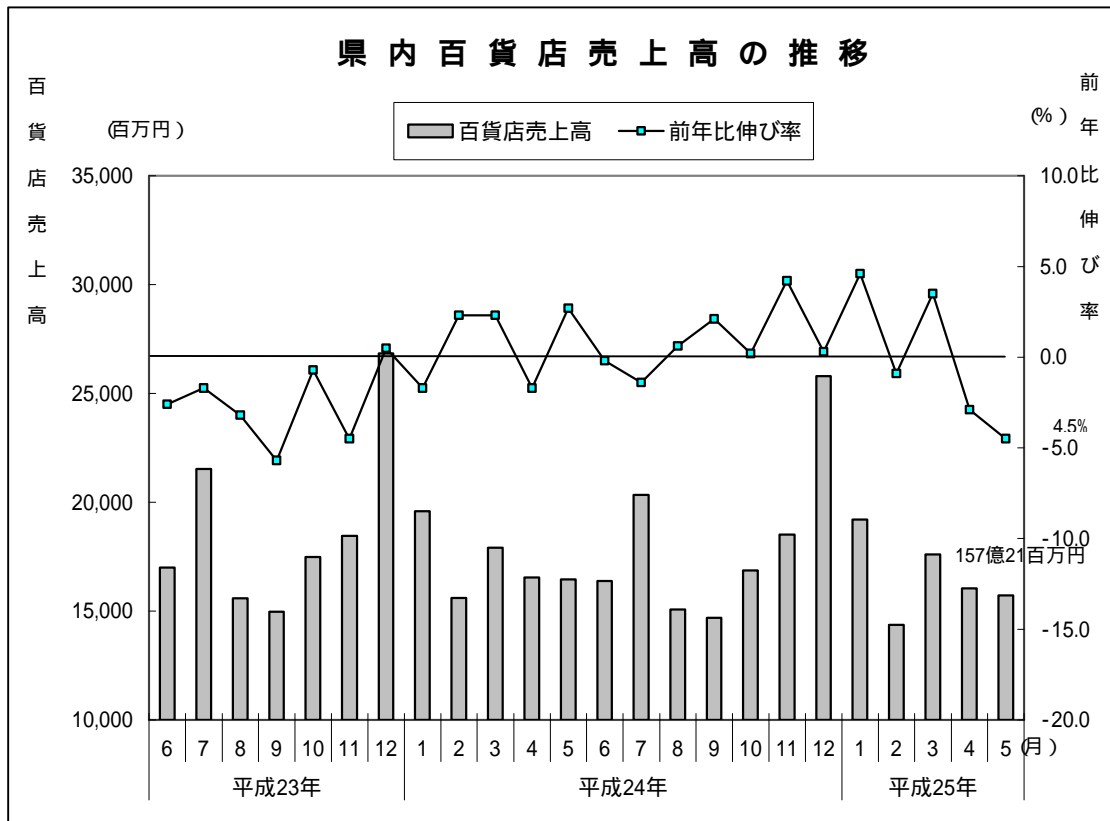
5月の県内百貨店売上高

品目	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	730(0.1)	183(4.2)	913(0.8)
婦人服・洋品	3,879(3.7)	628(9.4)	4,507(4.5)
子供服・洋品	355(6.3)	86(4.8)	442(4.3)
身の回り品	1,376(9.1)	300(5.2)	1,677(8.4)
家庭用品	569(0.5)	161(0.6)	730(0.3)
食料品	3,547(8.9)	770(3.5)	4,317(6.9)
雑貨	1,812(1.6)	368(4.9)	2,181(0.5)
その他	665(3.2)	286(3.2)	952(3.2)
計	12,936(4.8)	2,785(3.0)	15,721(4.5)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月比伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内5月の乗用車新車登録台数は12,231台、前年同月比5.1%減と2か月ぶりに前年同月の実績を下回った。

5月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は4,524台(前年同月比5.2%増)、小型乗用車は3,479台(同11.7%減)、軽乗用車は4,228台(同8.9%減)、乗用車合計で12,231台(同5.1%減)となった。

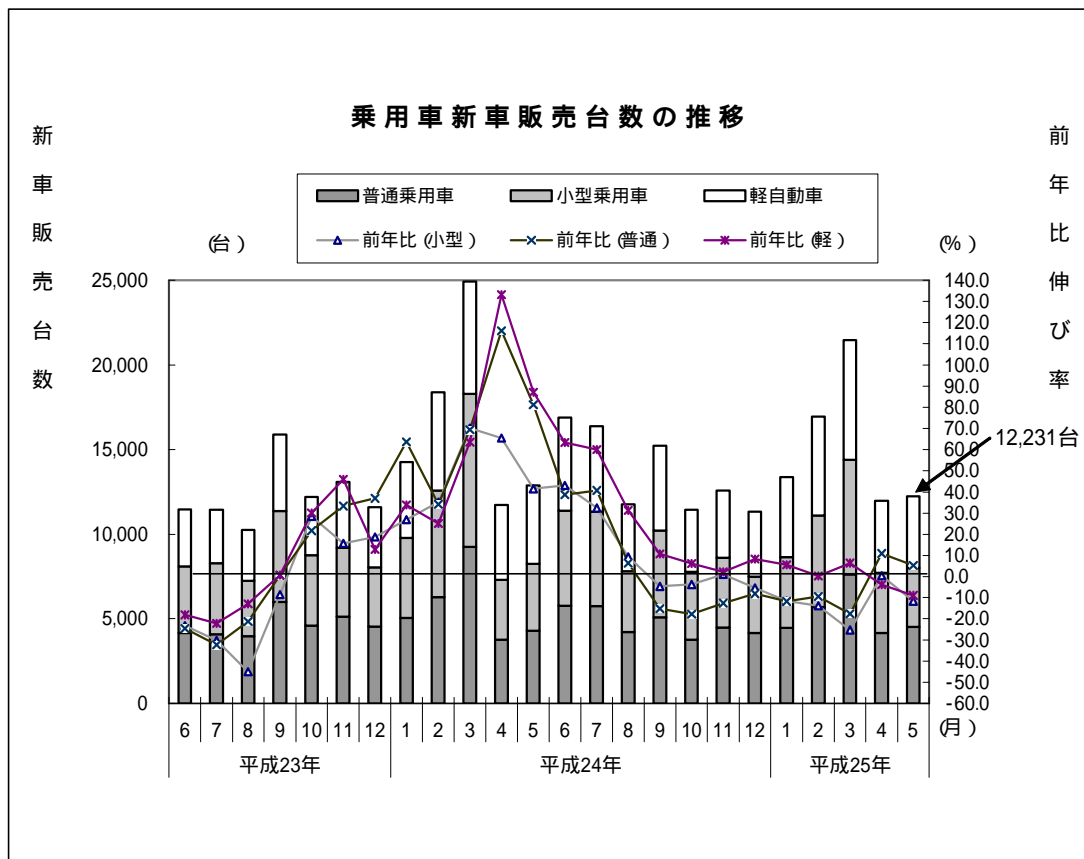
また貨物車等では、普通貨物車は230台(同10.6%増)、小型貨物車は538台(同21.4%増)、軽貨物車は1,015台(同13.7%減)、バスは22台(同21.4%減)となった。

5月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	4,524	5.2	97,314	1.8
小型乗用車	3,479	11.7	94,662	15.3
軽乗用車	4,228	8.9	116,460	8.4
乗用車合計	12,231	5.1	308,436	8.7
普通貨物車	230	10.6	9,033	5.2
小型貨物車	538	21.4	17,457	14.2
軽貨物車	1,015	13.7	32,089	2.1
貨物車合計	1,783	2.4	58,579	4.2
バス	22	21.4	633	14.0
登録車総計	14,036	4.8	367,648	6.9

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が6月12日に発表した機械受注統計によると、平成25年4月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、25年3月前月比27.8%増の後、25年4月は同14.2%減の2兆267億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、3月前月比14.2%増の後、4月は同8.8%減の7,233億円となった。

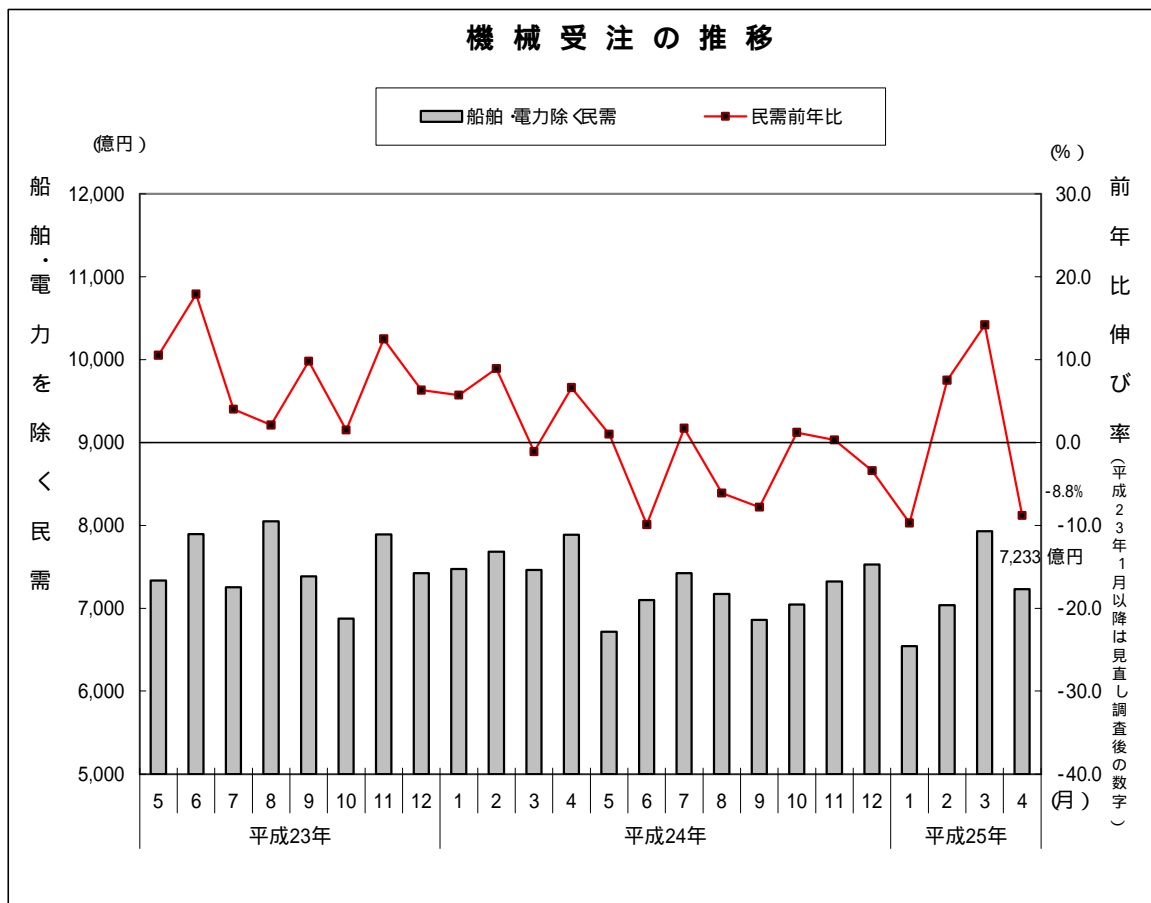
内訳をみると、製造業が同7.3%減の2,862億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同6.0%減の4,472億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、鉄鋼業(49.1%増)、電気機械(24.6%増)、造船業(15.1%増)等の5業種で、パルプ・紙・紙加工品(69.5%減)、石油製品・石炭製品(63.3%減)、非鉄金属(36.9%減)、食品製造業(18.4%減)、金属製品(16.8%減)、自動車・同付属品(13.7%減)等の10業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、リース業(39.9%増)、通信業(17.4%増)、卸売業・小売業(10.0%増)、建設業(7.0%増)等の6業種で、電力業(34.2%減)、運輸業・郵便業(32.7%減)、鉱業・採石業・砂利採取業(12.5%減)、金融業・保険業(12.3%減)等の6業種は減少となった。

兵庫県下においては、2012年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

* 全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2013年3月 兵庫県
設備投資計画：全産業前年度比+12.5% (製造業+22.8%、非製造業 17.8%)



機械受注統計（平成25年4月分）

	24年 4～6月 実績	7～9月 実績	10～12月 実績	25年 1～3月 実績	4～6月 見通し	25年 1月 実績	2月 実績	3月 実績	4月 実績
受注総額	59,338 (-12.2) [-4.0]	54,382 (-8.4) [-8.3]	56,379 (3.7) [-9.7]	60,410 (7.1) [-5.3]	57,414 (-5.0) [-8.9]	18,313 (1.1) [-24.8]	18,479 (0.9) [-14.8]	23,618 (27.8) [11.5]	20,267 (-14.2) [-4.3]
民需	26,097 (-2.6) [-5.8]	25,526 (-2.2) [-7.1]	25,341 (-0.7) [-5.6]	25,477 (0.5) [-2.0]	23,962 (-5.9) [-14.6]	8,029 (-3.4) [-9.1]	7,851 (-2.2) [-14.0]	9,598 (22.3) [8.3]	8,411 (-12.4) [-10.5]
“(Ex 船・電)	22,007 (-2.6) [-1.7]	21,715 (-1.3) [-4.6]	21,546 (-0.8) [-0.8]	21,539 (-0.0) [-4.6]	21,214 (-1.5) [-7.7]	6,663 (-7.5) [-9.7]	6,945 (4.2) [-11.3]	7,931 (14.2) [2.4]	7,233 (-8.8) [-1.1]
製造業	9,313 (-3.4) [-7.6]	9,031 (-3.0) [-9.5]	8,550 (-5.3) [-11.1]	8,407 (-0.7) [-12.1]	8,478 (0.8) [-13.0]	2,597 (-10.0) [-19.0]	2,724 (4.9) [-18.2]	3,087 (13.3) [-3.9]	2,862 (-7.3) [-9.8]
非製造業 (Ex 船・電)	12,808 (-0.7) [3.1]	12,772 (-0.3) [-1.3]	13,491 (5.6) [7.4]	13,702 (-3.1) [2.8]	13,005 (-0.5) [-3.0]	4,150 (-4.5) [-1.5]	4,164 (0.3) [-5.5]	4,759 (14.3) [9.8]	4,472 (-6.0) [4.8]
官公需	7,689 (1.0) [26.7]	7,202 (-6.3) [18.1]	6,942 (-3.6) [-1.5]	6,949 (0.1) [-6.9]	8,791 (26.5) [7.5]	1,997 (-17.3) [-21.8]	2,300 (15.2) [1.5]	2,651 (15.2) [-5.9]	2,485 (-6.3) [-8.0]
外需	22,009 (-15.6) [-9.4]	20,593 (-10.5) [-18.0]	21,246 (3.2) [-16.5]	23,670 (11.4) [-8.8]	22,138 (-6.5) [-7.5]	6,676 (-3.7) [-36.7]	6,740 (1.0) [-21.0]	10,254 (52.1) [27.5]	8,217 (-19.9) [6.7]
代理店	2,759 (-4.0) [7.8]	2,720 (-1.4) [11.7]	2,648 (-2.6) [-1.8]	3,000 (13.3) [4.2]	2,851 (-5.0) [1.8]	897 (-0.6) [2.2]	894 (-0.3) [-4.1]	1,209 (35.2) [11.3]	748 (-38.2) [-16.6]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内4月の新設住宅着工戸数は、総数で2,443戸(前年同月比5.3%減)となり、持家、給与住宅が増加したが、分譲住宅、貸家は減少し全体では2か月連続で前年を下回った。また、前月比では289戸の減少となった。

4月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	922	14.5	28,357	17.5
・分譲住宅	862	7.2	21,388	6.9
貸家系・貸家	638	24.1	27,842	7.8
・給与住宅	21	425.0	307	57.2
総数	2,443	5.3	77,894	5.8

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

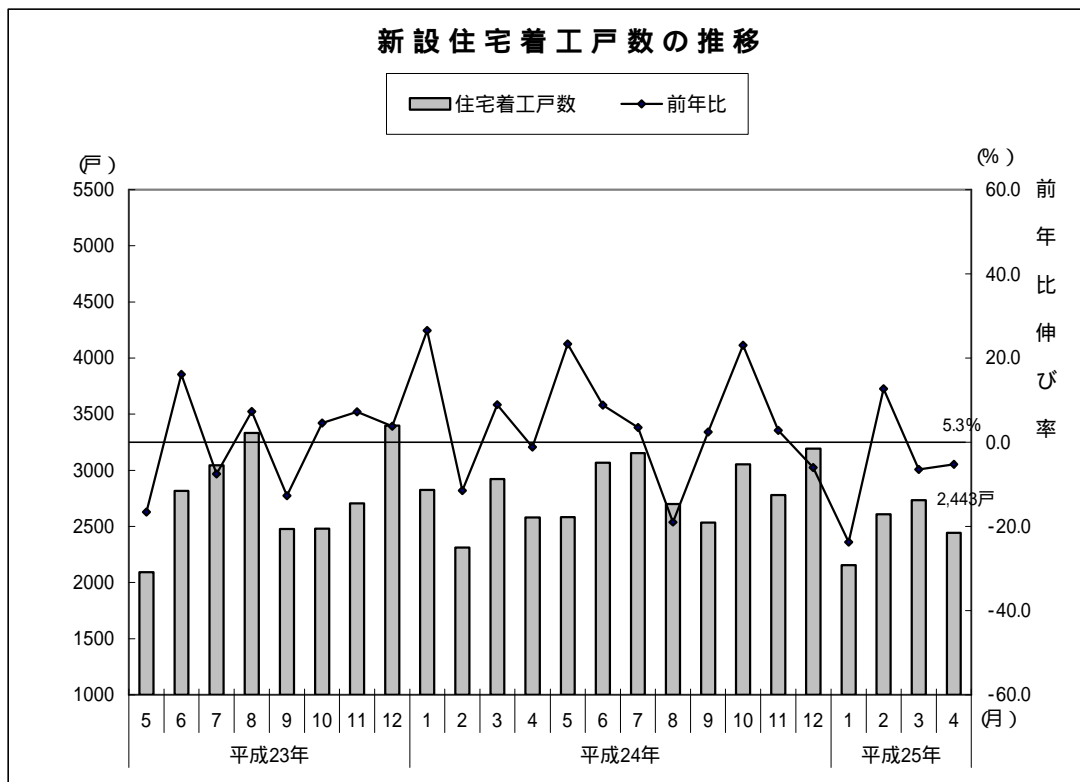
4月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	563	462	284	356	82	332	141	156	17	50	2,443
前月比	-25	-108	-100	-232	-35	-21	79	134	-4	23	-289

資料：兵庫県住宅計画課

平成25年4月の新設住宅着工累計は、総数で2,443戸、前年同期比289戸の減少となった。利用関係別では「持家」が922戸(前年同期比14.5%増)、「分譲住宅」が862戸(同7.2%減)、「貸家」が638戸(同24.1%減)、「給与住宅」が21戸(同425.0%増)となった。



【公共工事】

5月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は289件で前年同月比2.4%の減少、請負金額は329億63百万円で同70.8%の増加となり、金額ベースでは2か月ぶりに前年同月を上回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「その他の団体」が前年同月比934.7%、「独立行政法人等」同206.9%、「兵庫県」同58.5%、「国」同58.0%、「神戸市」が同24.9%、「神戸市を除く市町」同5.8%が増加となり、前年同月を上回った。

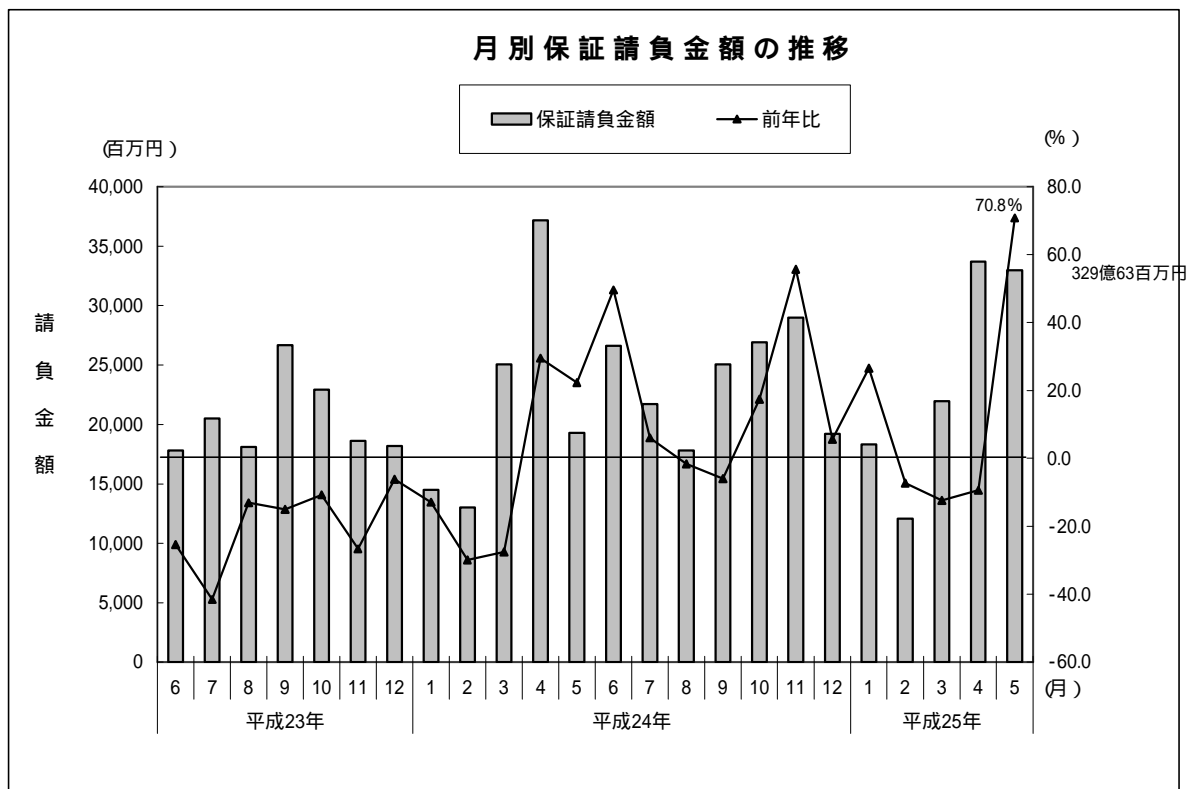
地域別(金額ベース)では、阪神南(同375.5%)、西播磨(同181.9%)、但馬(同96.3%)、神戸市(同85.1%)、阪神北(同71.9%)、丹波(同29.5%)、淡路(同19.5%)、東播磨(同3.2%)で増加、中播磨(同49.8%)、北播磨(同6.4%)で減少となった。

5月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	24(242.9)	2,747(58.0)	
独立行政法人等	10(28.6)	4,750(206.9)	浜甲子園団地第二期A・B地区建築その他工事 平成25年度舞子トンネル非常用設備更新工事
兵庫県	130(5.8)	13,300(58.5)	県住明石松が丘住宅第3・4期建築工事 県立豊岡総合高等学校機械科棟その他建築工事
神戸市	27(12.5)	1,794(24.9)	神戸港西部地区海岸・港湾施設防災対策工事
神戸市を除く市町	86(19.6)	6,106(5.8)	金楽寺小学校南東棟等改築工事 高機能消防指令センター等整備工事 由良小学校改築工事
その他の団体	12(100.0)	4,264(934.7)	パースコンテナクレーン製作付工事
合計	289(2.4)	32,963(70.8)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成25年4月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,967億円、前年同月比6.4%の増加で、総額ベースで2か月連続増額となった。輸出は、船舶などが減少したものの、原動機などが増加した。一方、輸入は、鉄鋼などが減少したものの、半導体等電子部品などが増加した。

輸出は4,458億円(前年同月比1.4%増)と2か月連続で増加した。

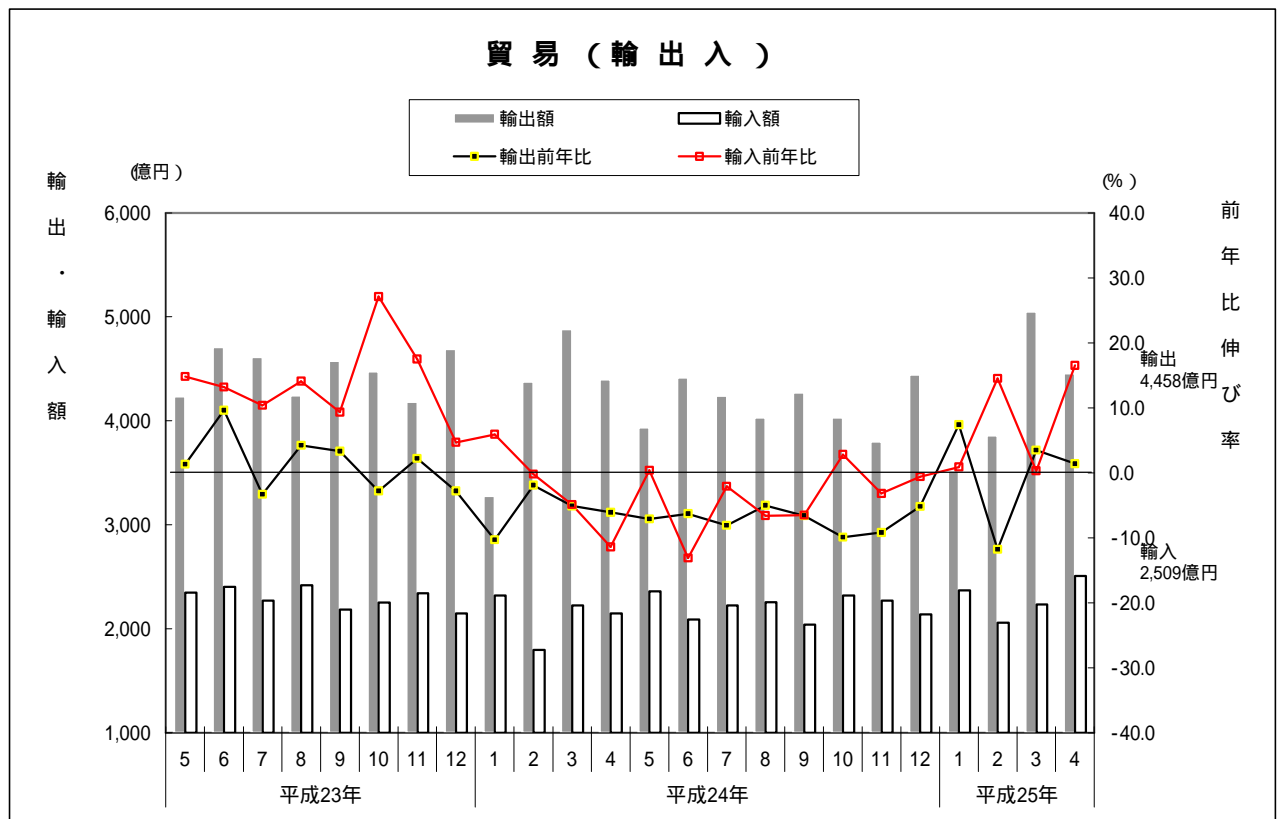
主要品目では、原動機(前年同月比38.3%増、2か月連続プラス)、建設用・鉱山用機械(同12.2%増、2か月連続プラス)、織物用糸および繊維製品(同11.4%増、2か月連続プラス)、プラスチック(同7.3%増、4か月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比20.4%増、10か月連続プラス)、EU(同7.9%増、3か月連続プラス)が増加し、中国(同7.9%増、2か月ぶりにマイナス)、アジア(中国含む)(同1.8%減、3か月連続マイナス)が減少した。

輸入は2,509億円(前年同月比16.5%増)と4か月連続で増加した。

主要品目では、非鉄金属(前年同月比27.2%増、5か月ぶりにプラス)、有機化合物(同26.3%増、2か月ぶりにプラス)、たばこ(同10.0%増、2か月連続プラス)、衣類および同付属品(同2.0%増、2か月ぶりにプラス)が増加した。

主要地域(国)別では、EU(前年同月比37.2%増、5か月連続プラス)、米国(同22.1%増、2か月ぶりにプラス)、アジア(中国含む)(同9.7%増、2か月ぶりにプラス)、中国(同8.9%増、2か月ぶりにプラス)が増加した。



【物 価】『消費者物価』

5月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が99.8(平成22年=100)となり、前月比は0.5%上昇、前年同月比は0.4%下落となった。生鮮食品を除く総合指数は100.0となり、前月比は0.4%上昇、前年同月比は変わらずとなった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.4となり、前月比は0.1%上昇、前年同月比は0.2%下落となった。

前月からの動きを見ると、自動車関連費の値下がりにより「交通・通信」が0.2%、家庭用耐久財などの値下がりにより「家具・家事用品」が0.4%、衣料などの値下がりにより「被服及び履物」が0.2%それぞれ下落した。しかしながら、電気代などの値上がりにより「光熱・水道」が6.4%、魚介類などの値上がりにより「食料」が0.1%、理美容用品などの値上がりにより「諸雑費」が0.3%、医薬品・健康保持摂取品の値上がりにより「保険医療」が0.4%、教養娯楽用品などの値上がりにより「教養娯楽」が0.1%それぞれ上昇した結果、総合では0.5%の上昇となった。

5月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	99.8	97.0	101.8	112.6	96.1	101.2	97.8	99.7	101.0	94.5	103.2	100.0	99.4
前月比	0.5	0.1	0.0	6.4	-0.4	-0.2	0.4	-0.2	0.0	0.1	0.3	0.4	0.1
前年同月比	-0.4	-2.6	0.1	7.3	-1.2	-0.9	-1.1	0.4	0.9	-1.6	0.7	0.0	-0.2

(注)平成22年=100

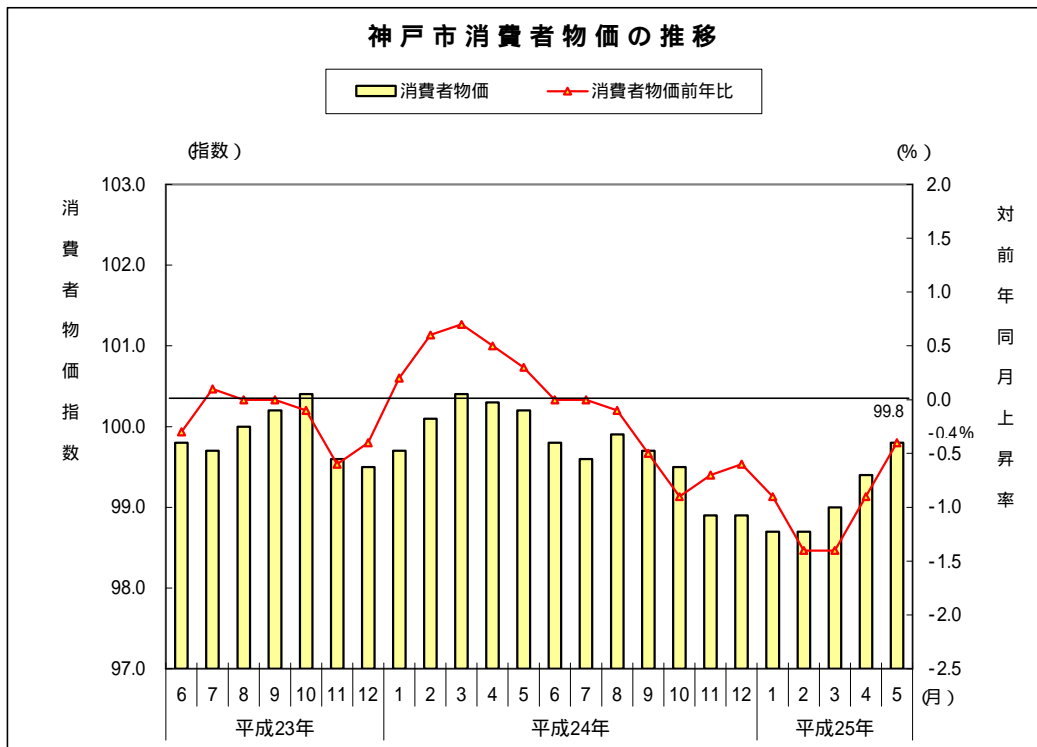
資料：兵庫県統計課

対前月比値上がりした主な品目

電気代 (+ 12.8%)・・・電気代
魚介類 (+ 3.9%)・・・さけ、まぐろ、たこ

対前月比値下がりした主な品目

自動車等関係費 (- 0.3%)・・・ガソリン、カーナビゲーション、自動車タイヤ
家庭用耐久財 (- 2.1%)・・・ルームエアコン、電子レンジ、電気掃除機



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が6月12日に発表した、企業物価指数(速報)による2013年5月の企業物価指数は次のとおり。

5月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	101.6	0.1	0.6
輸 出 物 価	109.3	1.7	13.5
輸 入 物 価	125.5	1.2	14.2

資料：日本銀行調査統計局

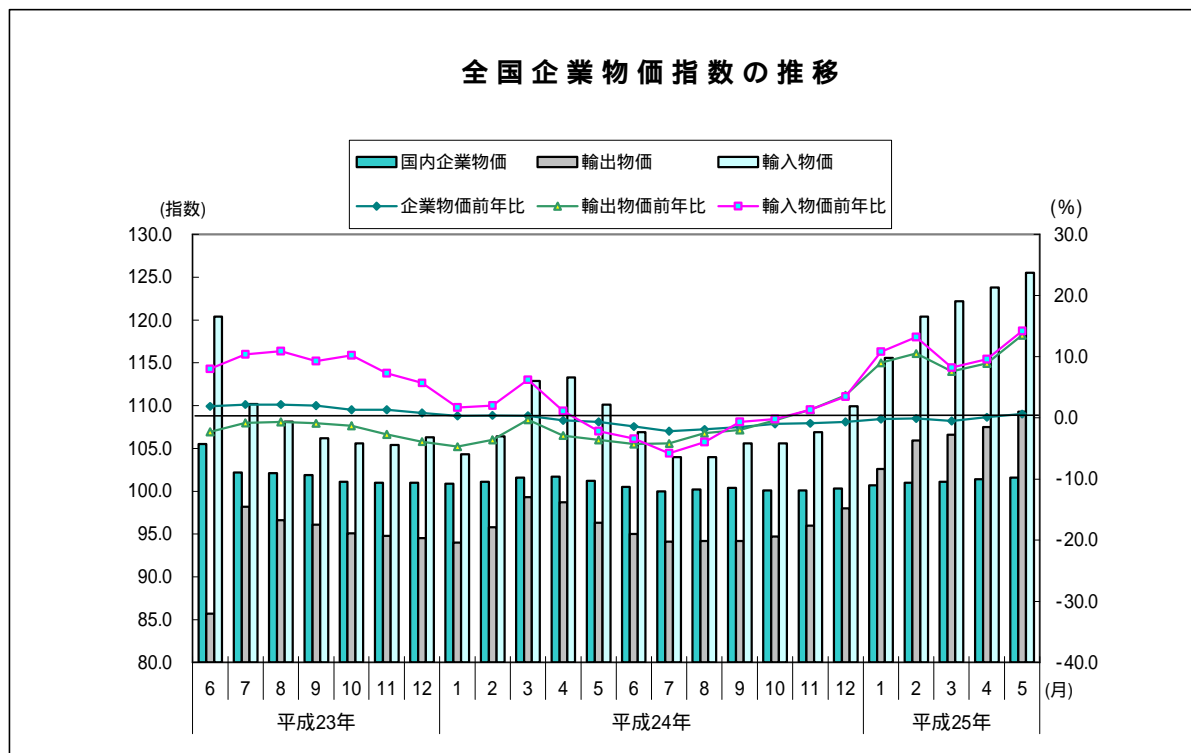
国内企業物価は、石油・石炭製品(前月比-1.6% <ガソリン、軽油など>)等が下落したが、電力・都市ガス・水道(同+2.5% <業務用高圧電力など>)、非鉄金属(同0.9% <銅地金など>)、化学製品(同+0.5% <ベンゼン、プロピレンなど>)、鉄鋼(同+0.1% <普通鋼鋼管など>)等が上昇し、全体では前月比0.1%の上昇となった。

前年同月比は、2011年11月以来、1年5か月ぶりの上昇率となった。

円安を反映して原材料や燃料の輸入価格が上昇し、国内の各産業へ価格転嫁が進んでいる。

輸出物価は、輸送用機器(前月比+2.2% <普通乗用車など>)、その他産品・製品(同+1.6% <ジェット燃料油など>)、化学製品(同+1.3% <塩化ビニルモノマーなど>)、金属・同製品(前月比+0.6% <金地金、銅地金など>)等が上昇し、円ベースでは前月比1.7%の上昇(前年同月比+13.5%)となった。

輸入物価は、食料品・飼料(前月比+2.5% <大豆、大豆かすなど>)、化学製品(同+1.9% <医薬品中間物>)、金属・同製品(同+1.5% <銀地金、ニッケル地金など>)、電気・電子機器(同+1.5% <モス型ロジック集積回路、携帯電話機など>)、石油・石炭・天然ガス(同+0.2% <原油など>)等が上昇し、円ベースでは前月比1.2%の上昇(前年同月比+14.2%)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内4月の新規求人数(全数)は、26,741人(前年同月比12.7%増、前月比3.3%減)で、2か月ぶりに前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は72,683人(前年同月比7.7%増、前月比3.6%減)で36か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比7.8%増で2か月ぶりに前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同20.3%増で17か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同0.8%減で2か月連続して前年を下回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比7.9%増)、情報通信業(同52.3%増)、運輸業、郵便業(同4.1%増)、卸売業、小売業(同7.5%増)、学研究、専門・技術サービス業(同13.0%増)、宿泊業、飲食サービス業(同38.9%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同4.4%増)、医療・福祉(同18.9%増)、サービス業(同8.9%増)は前年を上回ったが、製造業(同2.7%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

4月の新規求職申込件数(全数)は、31,542件(前年同月比0.6%増、前月比30.7%増)で、3か月ぶりに前年を上回った。また、月間有効求職者数(全数)は106,941人(前年同月比2.2%減、前月比7.1%増)で35か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比0.4%増で3か月ぶりに前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同1.5%増で3か月ぶりに前年を上回った。また、臨時・季節については、前年同月比34.7%減で8か月連続して前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比8.9%増で8か月連続、事業主都合離職者は同1.9%増で3か月ぶりに前年を上回ったが、自己都合離職者は同0.6%減で3か月連続、自営・他は同15.1%減で23か月連続、無業者は同11.1%減で16か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、23,541人(前年同月比1.1%減)で、3か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

4月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.22倍で前月を上回り、有効求人倍率については0.74倍で前月から上昇となった。

(4) 失業者の状況

4月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.1%、完全失業者数(原数値)は291万人(前年同月比24万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.3%(前年同月比1.6ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は45万人(前年同月比16万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
25年4月	26,741	1,977	2,525	367	1,424	4,256	174	492	783	2,566	1,249	6,851	2,982
前年同月比	12.7	7.9	2.7	52.3	4.1	7.5	15.9	13.5	13.0	38.9	4.4	18.9	8.9

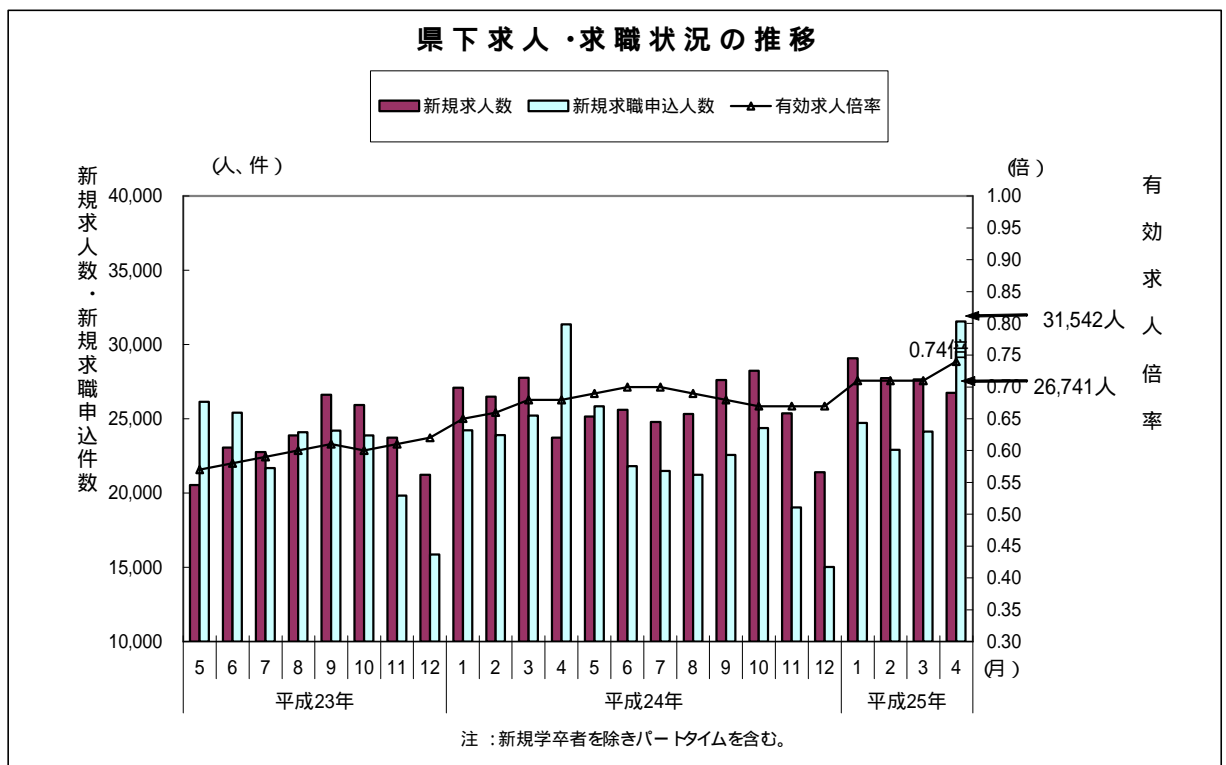
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	12/4-6	12/7-9	12/10-12	13/1-3	13/2	13/3	13/4
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.68	0.69	0.68	0.71	0.71	0.71	0.74
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	14.5	6.1	5.9	3.8	4.7	0.3	12.7
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	5.0	3.6	6.0	4.0	4.0	3.8	3.9
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	0.6	0.6	0.6	1.1	1.3	1.1	0.7
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	2.9	2.5	0.0	0.1	0.2	0.5	0.4

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



【信用保証】

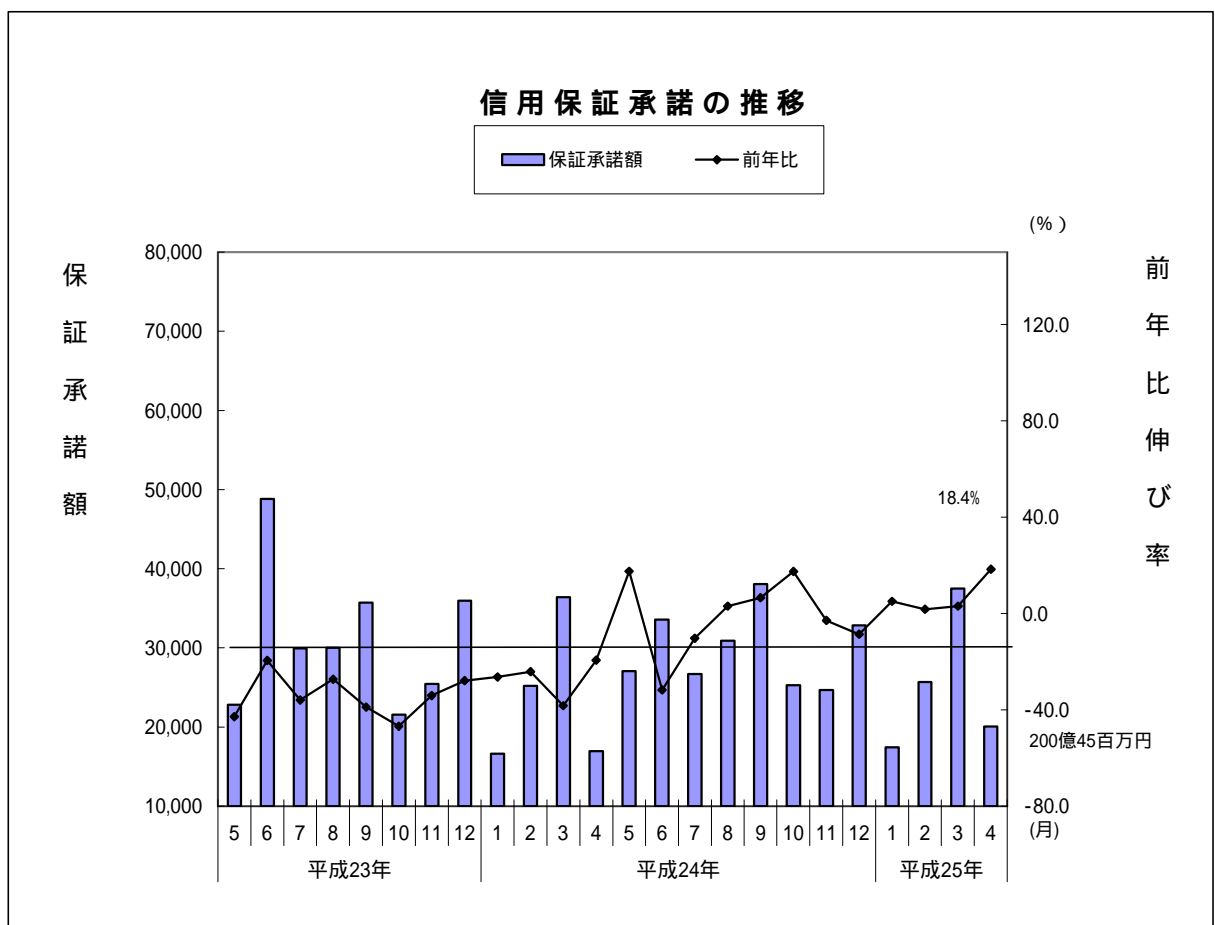
兵庫県信用保証協会による4月の保証承諾実績は、件数で1,373件(前年同月比0.9%増)、金額は200億45百万円(同18.4%増)となり、件数、金額ともに前年実績を上回った。

資金使途別では、運転資金18,675百万円(前年同月比19.1%増) 設備資金422百万円(同14.0%減)となり、運転資金は前年同月比を上回り、設備資金は前年同月を下回った。

業種別(金額ベース)では、「卸売業」3,661百万円(前年同月比44.9%増)「製造業」4,243百万円(同35.5%増)「建設業」5,562百万円(同20.2%増)「小売業」2,530百万円(同9.7%増)、「不動産業」612百万円(同3.2%増)で前年同月を上回り、「運送・倉庫業」1,056百万円(同0.4%減)「飲食店」471百万円(同6.2%減)「サービス業」1,797百万円(同16.0%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、291件(前年同月比118.8%増)、32億4百万円(同85.8%増)となった。

4月末の保証債務残高は、106,659件(前年同月比6.0%減)、1兆2,243億円(同8.6%減)となった。



【金融】

4月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	145,418	2.2	55,029	0.6
地方銀行	24,772	1.7	21,038	5.2
第二地方銀行	32,186	2.2	20,055	1.4
信用金庫	80,107	0.9	37,203	2.3
その他	17,412	2.1	17,281	0.8
計	299,895	1.8	150,606	0.2

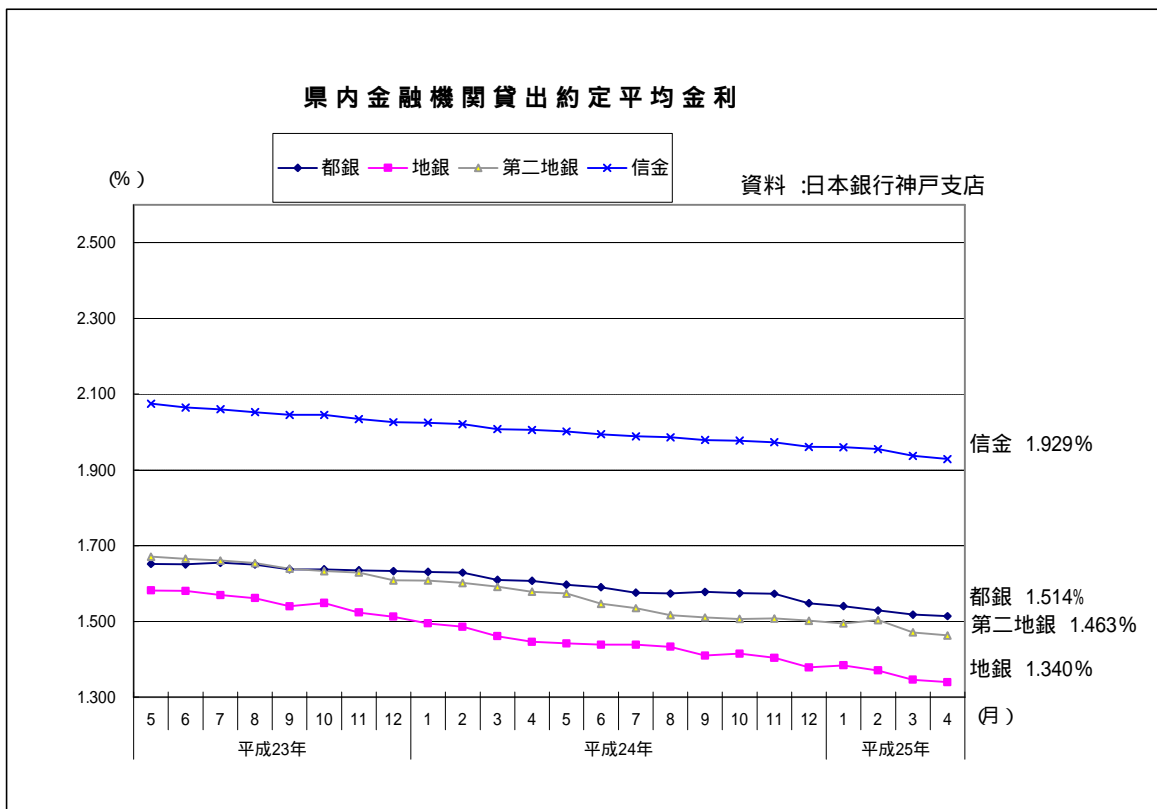
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

4月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比+1.8%)

4月の貸出は、前年並みの水準で推移している。(前年比+0.2%)

4月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(4月末水準 1.624%、前月比 0.005%ポイント)。



【倒 産】

県内5月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は48件で前年同月比4.6%の増加、負債総額は29億15百万円で同95.1%の減少となった。

倒産件数は、前年同月比は5か月ぶりに増加となり、5月単月では過去10年間(平成16年以降)で4番目に少ない件数となった。負債総額は10億円以上の大型倒産はなく、1億円未満の倒産が39件を占めるなど小口主流となり、5月単月では過去10年間では最小となった。

原因別(件数)では、「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が40件(全体の83.3%)を占めた。

業種別(件数)では、「建設業」が15件と前年前月比7件の増加でトップであった。

「資本金別」では、「1千万円未満(個人企業含)」の件数が31件で、当月も小規模事業者の倒産が特徴的であった。

「産業別」では、「建設」が15件でトップ、「卸売」が10件と続いて多い。

県下の企業倒産は、5月度の件数が4か月連続で40件台となり、本年1月から5月までの累計では238件。これは昨年と比較して11件の減少となっており、企業倒産は鎮静状態が続いている。中小零細企業などの倒産抑制に大きな効果を発揮した「中小企業金融円滑化法」は、3月をもって終了したが、円滑化法終了後も今のところ企業倒産動向に注目すべき変化はない。その背景には金融機関への監督官庁からの指導や、事業再生を柱とする中小企業施策等の効果もあるとみられる。

当面、中小企業倒産は一進一退の推移が見込まれるが、今後は金融機関の中小企業への取引姿勢には温度差が生じることも予想され、先送りした企業の淘汰等、秋口以降の動向が注目される。

5月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	4	8	-4	1	3	建設業	15	16	-1	8	7
過小資本	2	4	-2	4	-2	製造業	7	6	1	6	1
連鎖倒産	2	0	2	2	0	卸売業	10	6	4	9	1
赤字累積	5	5	0	4	1	小売業	5	3	2	7	-2
販売不振	34	27	7	34	0	情報通信業	0	1	-1	0	0
売掛金回収難	1	0	1	0	1	サービス業	8	12	-4	13	-5
その他	0	1	-1	0	0	不動産・運輸業他	3	1	2	2	1
合計	48	45	3	45	3	合計	48	45	3	45	3

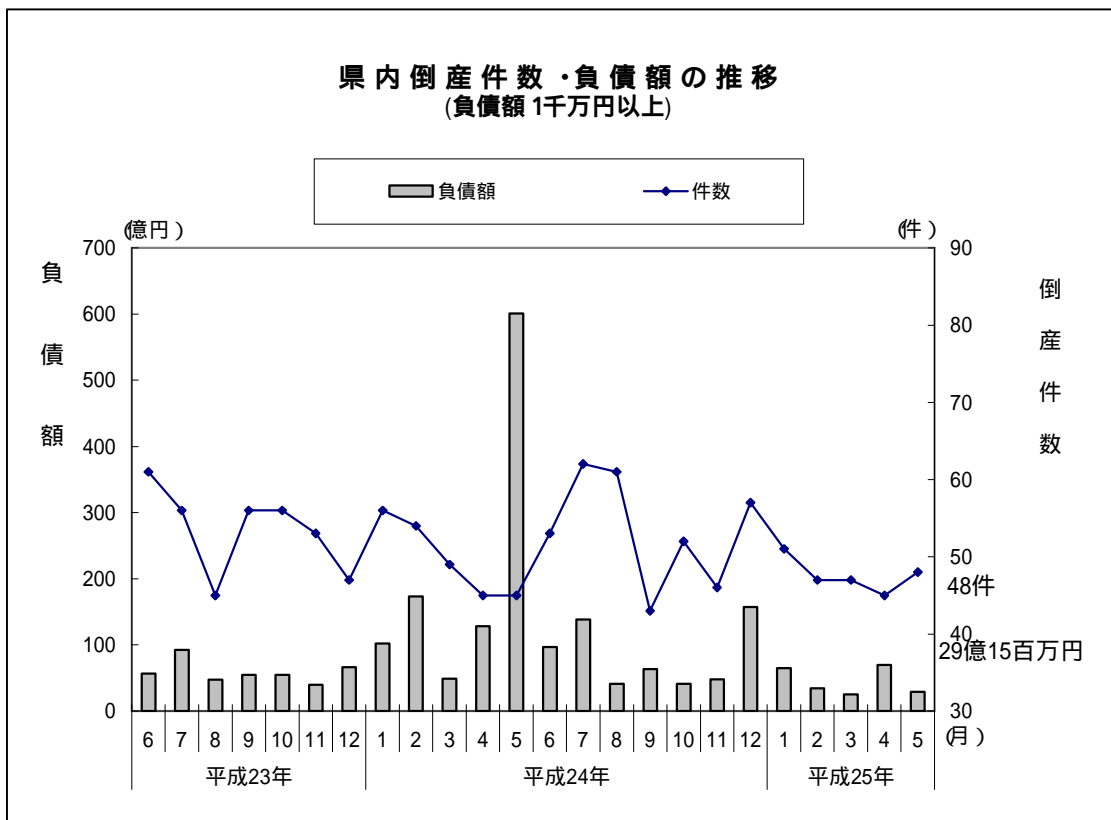
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1.0	0.9
24年 平均	51.9	16.0	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 1月	51	13	19	8	3	5	2	1
25年 2月	47	9	21	10	6	0	1	0
25年 3月	47	16	15	5	8	0	0	3
25年 4月	45	13	18	5	7	0	0	2
25年 5月	48	19	20	2	3	2	1	1

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数			
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国	
	指数	前月比	指数	前月比	金額 (億円)	前年比	前年比	戸数 (戸)	前年比	前年比	
24年	102.9	3.0	95.2	1.9	145	-12.9	8.5	2,823	26.5	-1.1	
	2月	99.0	-1.2	94.4	-1.6	130	-29.9	16.8	2,314	-11.5	7.5
	3月	97.9	-2.9	95.3	1.0	251	-27.6	8.0	2,923	8.9	5.0
	4月	96.3	1.5	95.4	-0.2	372	29.5	5.4	2,579	-1.1	10.3
	5月	95.0	-0.2	92.2	-3.4	193	22.3	36.7	2,581	23.3	9.3
	6月	94.0	-1.3	92.6	0.4	266	49.6	14.1	3,066	8.8	-0.2
	7月	95.7	1.5	91.7	-1.0	217	6.0	26.6	3,152	3.5	-9.6
	8月	91.6	-4.4	90.2	-1.6	178	-1.6	19.2	2,699	-19.0	-5.5
	9月	93.6	1.6	86.5	-4.1	251	-6.0	-1.9	2,534	2.4	15.5
	10月	86.7	-7.5	87.9	1.6	269	17.4	28.2	3,051	23.0	25.2
	11月	84.5	-2.4	86.4	-1.7	290	55.7	6.2	2,780	2.8	10.3
	12月	88.3	4.4	88.8	2.4	192	5.6	15.6	3,193	-6.0	10.0
25年	1月	88.6	0.3	89.1	0.3	183	26.5	6.7	2,155	-23.7	5.0
	2月	87.3	-1.3	89.6	0.6	120	-7.3	-4.8	2,607	12.7	3.0
	3月	r 90.5	3.2	90.4	0.9	219	-12.4	-11.7	2,732	-6.5	7.3
	4月	p 89.8	-0.8	91.9	1.7	336	-9.4	128.6	2,443	-5.3	5.8
	5月					329	70.8	24.8			
	6月										
	7月										
	8月										
	9月										
	10月										
	11月										
	12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省	

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)				
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入		
	台数	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	金額 (億円)	前年比	
24年	14,266	40.4	38.4	196	-1.7	-1.2	3,277	-10.3	2,319	5.9	
	2月	18,388	31.4	31.7	156	2.3	-0.5	4,375	-1.9	1,796	-0.2
	3月	24,941	68.1	76.3	179	2.3	14.2	4,879	-5.1	2,225	-4.9
	4月	11,728	103.0	99.5	165	-1.7	1.6	4,398	-6.1	2,151	-11.4
	5月	12,881	68.6	68.6	165	2.7	-0.9	3,935	-7.1	2,359	0.4
	6月	16,893	47.4	46.8	164	-0.2	-1.2	4,418	-6.3	2,088	-13.1
	7月	16,384	43.0	42.3	203	-1.4	-3.3	4,239	-8.1	2,227	-2.1
	8月	11,762	14.6	15.6	151	0.6	-0.8	4,032	-5.0	2,256	-6.6
	9月	15,226	-4.2	-3.7	147	2.1	-0.0	4,271	-6.6	2,041	-6.5
	10月	11,441	-6.3	-6.7	169	0.2	-2.2	4,032	-9.9	2,318	2.8
	11月	12,576	-3.9	0.2	185	4.2	2.5	3,800	-9.2	2,271	-3.2
	12月	11,342	-2.3	-2.0	258	0.3	-1.0	4,444	-5.2	2,137	-0.6
25年	1月	13,378	-6.2	-7.4	192	4.6	0.3	3,522	7.4	2,372	0.9
	2月	16,941	-7.9	-8.1	143	-0.9	0.7	3,861	-11.7	r 2,058	14.6
	3月	21,468	-13.9	-11.0	176	3.5	4.0	r 5,051	3.5	r 2,235	0.3
	4月	11,979	2.1	0.7	160	-2.9	-0.4	p 4,457	1.4	p 2,508	16.5
	5月	12,231	-5.0	-8.7	157	-4.5					
	6月										
	7月										
	8月										
	9月										
	10月										
	11月										
	12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関				

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
24年 1月	(季調済) 0.65	(季調済) 0.73	1,053	5.2	98.7	-0.2	99.7	0.2	99.6	0.1
2月	0.66	0.75	1,049	5.1	98.9	-0.3	100.1	0.6	99.8	0.3
3月	0.68	0.76	1,043	4.7	100.1	-1.0	100.4	0.7	100.3	0.5
4月	0.68	0.79	1,053	4.4	100.5	-0.3	100.3	0.5	100.4	0.4
5月	0.69	0.81	1,052	4.0	98.8	-0.9	100.2	0.3	100.1	0.2
6月	0.70	0.82	1,051	3.8	100.2	0.1	99.8	0.0	99.6	-0.2
7月	0.70	0.83	1,054	3.8	100.0	-0.1	99.6	0.0	99.3	-0.4
8月	0.69	0.83	1,051	3.9	99.6	0.1	99.9	-0.1	99.4	-0.4
9月	0.68	0.81	1,052	4.4	99.3	-0.5	99.7	-0.5	99.6	-0.3
10月	0.67	0.80	1,047	4.2	99.3	-0.6	99.5	-0.9	99.6	-0.4
11月	0.67	0.80	1,048	4.0	99.8	-1.6	98.9	-0.7	99.2	-0.2
12月	0.67	0.82	1,048	4.0	100.4	0.5	98.9	-0.6	99.3	-0.1
25年 1月	0.71	0.85	1,040	-1.2	99.4	0.7	98.7	-0.9	99.3	-0.3
2月	0.71	0.85	1,035	-0.4	99.8	0.9	98.7	-1.4	99.2	-0.7
3月	0.71	0.86	1,032	-0.2	100.5	0.4	99.1	-1.3	99.4	-0.9
4月	0.74	0.89	1,043	-0.9	101.6	1.1	r 99.3 p 99.8	-1.0	99.7	-0.7
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産 (負債1,000万円以上)				
	全国		金額 (各期末)	前年比 %	全国銀行 (年%)	件数 (件)	金額 (億円)	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %						神戸	阪神	播磨他
24年 1月	100.9	0.3	150,149	-0.9	1.452	56	102	14	19	23
2月	101.1	0.4	149,482	-1.3	1.442	54	173	17	23	14
3月	101.6	0.3	152,152	-1.3	1.428	49	49	15	23	11
4月	101.4	-0.7	150,310	-0.6	1.424	45	128	14	14	17
5月	101.0	-0.9	150,352	-0.3	1.421	45	601	16	18	11
6月	100.4	-1.5	150,636	0.3	1.409	53	97	18	25	10
7月	99.9	-2.3	150,531	-0.1	1.403	62	138	16	28	18
8月	100.1	-2.0	150,189	0.3	1.401	61	41	22	22	17
9月	100.4	-1.5	151,823	0.8	1.385	43	63	15	14	14
10月	100.0	-1.1	149,833	0.1	1.383	52	41	22	11	19
11月	99.9	-1.1	150,053	0.0	1.378	46	48	12	17	17
12月	100.3	-0.7	151,415	-0.1	1.364	57	157	11	19	27
25年 1月	100.5	-0.4	150,340	0.1	1.358	51	65	13	19	19
2月	101.0	-0.1	150,096	0.4	1.346	47	34	9	21	17
3月	101.1	-0.5	152,787	0.4	1.325	47	25	16	15	16
4月	r 101.5	0.1	150,606	0.2	1.321	45	69	13	18	14
5月	p 101.6	0.6				48	29	19	20	9
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値